



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 黒江 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	40,669	1.3	5,738	131.8	6,179	144.2	4,975	183.5	4,975	183.5	△4,039	—
28年3月期第1四半期	40,166	—	2,475	—	2,530	—	1,755	—	1,755	—	4,715	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第1四半期	28.50	—	25.97	—
28年3月期第1四半期	10.05	—	9.26	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
29年3月期第1四半期	205,651	—	87,834	—	87,834	—	42.7	
28年3月期	210,451	—	93,619	—	93,619	—	44.5	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	156,000	△3.8	11,000	△12.7	11,500	△2.3	8,500	27.0	8,500	27.0	48.69	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	199,566,770 株	28年3月期	199,566,770 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	24,994,280 株	28年3月期	24,994,162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	174,572,523 株	28年3月期1Q	174,557,956 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成28年3月期の有価証券報告書から国際会計基準(IFRS)を適用しております。また、本短信の前年度第1四半期の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明.....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 11
(セグメント情報) .....	P. 11
2016 年度第 1 四半期 決算 (連結) の概要 .....	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2016年4月1日～2016年6月30日)の状況 (単位:億円)

	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	440	438	△0.6%
売上高	402	407	1.3%
営業利益	25	57	131.8%
税引前四半期利益	25	62	144.2%
四半期利益	18	50	183.5%

当第1四半期の世界経済は、総じて緩やかな成長基調が維持されました。米国を中心とした先進国では経済情勢の改善が続き、新興国経済も全体としては底堅い推移を続けました。しかしながら、当第1四半期末にイギリスがEU離脱を決定したことにより、円高の急速な進行など世界の金融・為替市場に大きな変動が生じるとともに、今後の世界経済への不透明感が高まりました。

半導体関連市場においては、中・低価格帯スマートフォンが高性能化しながら世界的に販売台数を伸ばし、この市場を牽引しました。この動きを背景に、スマートフォン向けロジック半導体などの非メモリ半導体の生産ラインは活況を呈し、半導体メーカーの生産能力増強に向けた設備投資も堅調に推移しました。一方で、デバイス価格の低下が続いていたメモリ半導体では、需給環境に改善の兆しが見られましたが設備投資の本格化には至りませんでした。

当第1四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルが111円(前年同期120円)、ユーロが124円(前年同期131円)となりました。

このような事業環境のもと、当社は、スマートフォン用ロジック半導体などに対するテスト需要の一層の獲得に努めました。また半導体試験装置周辺事業など他の事業においても、収益拡大につながる取り組みを着実に進めました。

その結果、受注高は438億円(前年同期比0.6%減)、売上高は407億円(同1.3%増)と、円高が進み為替環境が悪化した中でも前年同期並みの実績を収めることができました。利益面については、円高に伴う減益影響を受けましたが、採算性の良い製品の売上高比率が前年同期に比べ上昇したため、営業利益は57億円(同131.8%増)、税引前四半期利益は62億円(同144.2%増)、四半期利益は50億円(同183.5%増)となりました。海外売上比率は93.4%(前年同期94.3%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

(単位:億円)

	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	269	298	10.9%
売上高	247	287	16.3%
セグメント利益	14	80	459.8%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、中・低価格帯のスマートフォン向けのロジック半導体の生産が活況であったことから顧客のテストシステムへの投資意欲が強まり、円高傾向の中にあっても前年同期から売上高が大きく伸長しました。一方で、販売台数の落ち込みが続くパソコン関連の非メモリ半導体へのテストシステム需要や、液晶駆動用半導体向けのテストシステムの需要は低水準でした。メモリ半導体用テストシステム事業は、メモリ価格の下落が長引いたことで顧客各社のテスト

システムへの投資意欲が低調だったことから、旺盛な受注があった前年同期から一転し売上高は減少しました。

以上により、当部門の受注高は 298 億円（前年同期比 10.9%増）、売上高は 287 億円（同 16.3%増）、セグメント利益は 80 億円（同 459.8%増）となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

（単位：億円）

	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	91	62	△31.7%
売上高	87	52	△40.7%
セグメント利益	16	△10	—

当部門では、特にDRAM半導体メーカーの能力拡張投資が前年同期から落ち込む中、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高いデバイス・インタフェース事業の売上高が減少しました。大手半導体メーカーの微細化スケジュールの兼ね合いから、ナノテクノロジー事業も前年同期から売上減となりました。

以上により、当部門の受注高は 62 億円（前年同期比 31.7%減）、売上高は 52 億円（同 40.7%減）、セグメント損失は 10 億円（同 26 億円悪化）となりました。

<サービス他部門>

（単位：億円）

	2016年3月期 第1四半期連結累計期間	2017年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	80	77	△3.2%
売上高	68	69	0.9%
セグメント利益	8	6	△19.3%

当部門でも円高の影響を受けましたが、顧客である半導体メーカー各社の生産が活況だったことを背景に、当部門の主力事業であるフィールドサービス事業が堅調な売上高を収めました。

以上により、当部門の受注高は 77 億円（前年同期比 3.2%減）、売上高は 69 億円（同 0.9%増）、セグメント利益は 6 億円（同 19.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前年度末比 48 億円減少し、2,057 億円となりました。この主な要因は、営業債権およびその他の債権が 28 億円減少したことなどによります。負債合計は、その他の金融負債に含まれる預り金が 10 億円増加したことなどにより、前年度末比 10 億円増加し、1,178 億円となりました。また、資本合計は 878 億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比 1.8 ポイント減少し、42.7%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第1四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より 3 億円減少し、851 億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益 62 億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少（18 億円）および棚卸資産の増加（△18 億円）に、減価償却費などの非資金

項目等の損益を調整した結果、77億円の収入（前年同期は、42億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億円の支出（前年同期は、4億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得（△12億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億円の支出（前年同期は、116億円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払（△16億円）によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

高速無線通信網の拡充、スマートフォンの世界的な普及や性能の進化、自動車における先進運転支援システムの採用拡大など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社が主たる収益基盤を置く半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、中国や新興国諸国におけるスマートフォン市場の伸びや高速通信インフラの整備進展を背景に、非メモリ半導体用テストシステムについては四半期毎の需要増減はあるものの、総じて堅調な需要を見込んでいます。

また、より高速・大容量なDRAMやNAND型フラッシュメモリの普及拡大を背景に、当社のメモリ半導体用テストシステムやSSD用テストシステムに対する需要の伸びも期待されます。

このような見通しのもと、当社は、半導体試験装置市場におけるシェアの拡大、半導体試験装置周辺事業および新規事業の強化、コストの引き締めなどに努め、収益の拡大を目指します。

通期連結業績予想については、各事業の見通しと直近の為替の状況を踏まえ、売上高は前回公表の1,560億円を据え置きます。営業利益は100億円から110億円へ、税引前利益は100億円から115億円へ、当期利益は75億円から85億円へ修正いたします。予想の前提とした為替レートは、米ドルが100円、ユーロが110円です。

## 2. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,430	85,144
営業債権およびその他の債権	28,005	25,177
棚卸資産	33,912	34,900
その他の流動資産	3,049	3,340
流動資産合計	150,396	148,561
非流動資産		
有形固定資産	31,451	30,455
のれんおよび無形資産	16,726	15,246
その他の金融資産	3,542	3,320
繰延税金資産	8,038	7,721
その他の非流動資産	298	348
非流動資産合計	60,055	57,090
資産合計	210,451	205,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	22,101	22,245
社債	-	15,000
未払法人所得税	1,548	2,093
引当金	1,709	1,747
その他の金融負債	487	1,545
その他の流動負債	3,589	3,664
流動負債合計	29,434	46,294
非流動負債		
社債	44,618	29,650
その他の金融負債	65	52
退職給付に係る負債	41,076	40,152
繰延税金負債	358	480
その他の非流動負債	1,281	1,189
非流動負債合計	87,398	71,523
負債合計	116,832	117,817
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,478	44,478
自己株式	△ 94,585	△ 94,585
利益剰余金	105,190	108,419
その他の資本の構成要素	6,173	△ 2,841
親会社の所有者に帰属する持分合計	93,619	87,834
資本合計	93,619	87,834
負債および資本合計	210,451	205,651



(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2016年 4 月 1 日 至 2016年 6 月 30 日)
売上高	40,166	40,669
売上原価	△ 18,028	△ 15,391
売上総利益	22,138	25,278
販売費および一般管理費	△ 19,666	△ 19,597
その他の収益	104	138
その他の費用	△ 101	△ 81
営業利益	2,475	5,738
金融収益	114	497
金融費用	△ 59	△ 56
税引前四半期利益	2,530	6,179
法人所得税費用	△ 775	△ 1,204
四半期利益	1,755	4,975
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,755	4,975

(単位：円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2016年 4 月 1 日 至 2016年 6 月 30 日)
1 株当たり四半期利益		
基本的	10.05	28.50
希薄化後	9.26	25.97

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益	1,755	4,975
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,622	△ 8,902
売却可能金融資産の公正価値の純変動	338	△ 112
税引後その他の包括利益	2,960	△ 9,014
四半期包括利益	4,715	△ 4,039
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,715	△ 4,039

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2015年4月1日 残高	32,363	44,487	△ 94,686	106,916	12,730	101,810	101,810
四半期利益				1,755		1,755	1,755
その他の包括利益					2,960	2,960	2,960
四半期包括利益	-	-	-	1,755	2,960	4,715	4,715
自己株式の取得			0			0	0
自己株式の処分		△ 9	101	△ 61		31	31
配当金				△ 1,745		△ 1,745	△ 1,745
所有者との取引額等合計	-	△ 9	101	△ 1,806	-	△ 1,714	△ 1,714
2015年6月30日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	106,865	15,690	104,811	104,811

当第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				4,975		4,975	4,975
その他の包括利益					△ 9,014	△ 9,014	△ 9,014
四半期包括利益	-	-	-	4,975	△ 9,014	△ 4,039	△ 4,039
自己株式の取得			0			0	0
自己株式の処分							
配当金				△ 1,746		△ 1,746	△ 1,746
所有者との取引額等合計	-	-	0	△ 1,746	-	△ 1,746	△ 1,746
2016年6月30日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	108,419	△ 2,841	87,834	87,834

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,530	6,179
減価償却費および償却費	1,302	1,036
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	4,747	1,837
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 3,718	△ 1,761
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 2,013	321
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	55	44
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	689	835
その他	1,895	343
小計	5,487	8,834
利息および配当金の受取額	93	97
利息の支払額	△ 69	△ 80
法人所得税の支払額	△ 1,319	△ 1,120
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	4,192	7,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 279	△ 1,214
無形資産の取得による支出	△ 194	△ 30
その他	69	33
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 404	△ 1,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△ 10,000	-
配当金の支払額	△ 1,587	△ 1,601
その他	15	△ 18
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 11,572	△ 1,619
現金および現金同等物に係る換算差額	2,388	△ 5,187
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 5,396	△ 286
現金および現金同等物の期首残高	97,574	85,430
現金および現金同等物の期末残高	92,178	85,144

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	24,662	8,701	6,803	—	40,166
セグメント間の売上高	6	—	—	△ 6	—
合計	24,668	8,701	6,803	△ 6	40,166
セグメント利益	1,436	1,568	786	△ 1,315	2,475
金融収益	—	—	—	—	114
金融費用	—	—	—	—	△ 59
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,530

当第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	28,683	5,123	6,863	—	40,669
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	28,687	5,157	6,863	△ 38	40,669
セグメント利益	8,039	△ 985	634	△ 1,950	5,738
金融収益	—	—	—	—	497
金融費用	—	—	—	—	△ 56
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,179

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

## 2016年度第1四半期 決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

(単位:億円)

	(ご参考)2015年度 四半期別実績(米国基準)				2015年度実績(IFRS)		2016年度実績(IFRS)			2016年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期	1Q	前年同期比	増減率(%)	通期	前年度比
受注高	440	271	398	406	440	1,515	438	Δ2	Δ0.6%	(1,580)	4.3%
受注残	487	294	392	340	480	335	365	Δ114	Δ23.8%	(360)	6.0%

(注)上段( )の数値は、前回公表時の予想であります。

### 2. 損益

(単位:億円)

	(ご参考)2015年度 四半期別実績(米国基準)				2015年度実績(IFRS)		2016年度実績(IFRS)			2016年度業績予想	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期	1Q	前年同期比	増減率(%)	通期	前年度比
売上高	403	464	299	459	402	1,621	407	5	1.3%	(1,560)	Δ3.8%
売上原価	Δ177	Δ220	Δ119	Δ189	Δ180	Δ706	Δ154	26	Δ14.6%	-	-
販売費および一般管理費	Δ199	Δ204	Δ185	Δ213	Δ197	Δ791	Δ196	1	Δ0.4%	-	-
その他の収益	-	-	-	-	1	6	1	0	32.7%	-	-
その他の費用	-	-	-	-	Δ1	Δ4	Δ1	0	Δ19.8%	-	-
営業利益 (売上高比率)	27 (6.7%)	40 (8.7%)	Δ5 (Δ2.0%)	57 (12.5%)	25 (6.2%)	126 (7.8%)	57 (14.1%)	33	131.8%	(100)	Δ12.7%
金融収益・金融費用	1	Δ5	7	Δ8	0	Δ8	5	4	701.8%	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	28 (7.0%)	35 (7.6%)	2 (0.5%)	49 (10.9%)	25 (6.3%)	118 (7.3%)	62 (15.2%)	36	144.2%	(100)	Δ2.3%
法人所得税費用	Δ9	Δ10	Δ10	Δ6	Δ7	Δ51	Δ12	Δ4	55.4%	-	-
当期利益 (売上高比率)	19 (4.7%)	25 (5.5%)	Δ8 (Δ2.7%)	43 (9.4%)	18 (4.4%)	67 (4.1%)	50 (12.2%)	32	183.5%	(75)	27.0%

(注)上段( )の数値は、前回公表時の予想であります。

2015年度実績(米国基準)は、「研究開発費」を「販売費および一般管理費」に組み替えております。

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	(ご参考)2015年度 四半期別実績(米国基準)				2015年度実績(IFRS)		2016年度実績(IFRS)		
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	4Q末	1Q	前期比	増減率(%)
総資産	2,703	2,598	2,520	2,495	2,297	2,105	2,057	Δ48	Δ2.3%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	1,451	1,437	1,423	1,321	1,048	936	878	Δ58	Δ6.2%
親会社所有者帰属持分比率	53.7%	55.3%	56.5%	53.0%	45.6%	44.5%	42.7%	-	-

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2015年度			2016年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末	年間
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	未定	未定	未定

(注)現時点では2016年度の配当については未定です。今後の業績等を勘案し、発表可能となった時点で速やかに開示する予定です。